



清里町長 古谷 一夫

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には令和6年の輝かしい新春を、健やかにお迎えにあられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、猛威を振るっておりました新型コロナウイルスが一定の落ち着きを見せ、感染法上の分類が2類相当から5類に変更となり、町民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス禍前の日常生活を徐々に取り戻しつつあると受け止めております。

また、私たちの行動や移動、交流にも大きな制約がありました。清里町においても4年ぶりに「ふるさと産業まつり」を開催することができると、様々な分野で地域活動やイベントが動き出し、町全体に活気が戻りつつあることを心から嬉しく思っております。

約4年間にわたる新型コロナウイルス禍にあって、医療や福祉、介護、教育等の現場において地域を支えていただいた関係者の皆様の献身的な働きに對しまして、あらためて心よりお礼を申し上げます。

また一方で、昨年の夏は地球温暖化の影響が、今まで体験したことのない連日30度を超える異常とも思える猛暑に見舞われ、高齢者の皆様はじめ多くの方々が体調管理に苦労されるとともに、農作物の成長や作柄にも大きな影響が及んだところであります。

加えて、ロシアによるウクライナ侵攻により端を発した国際情勢の不安定化と長期化する円安の影響により、燃油や肥料、飼料、生産資材に加え食料を始めとしたあらゆる生活物資が高騰・値上がりし、私たちの日々の生活と経済活動を直撃し、現在も大きな影響が及んでおります。

こうした状況を踏まえ、町では町民皆様の生活や地域の経済活動と雇用を支えるため、国や北海道の支援に加えて町独自の幅広い対策を適時、継続的に講じてまいりました。



清里町議会議長 前中 康男

あけましておめでとうございませす。

町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営や議会活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

議会も昨年4月に町議会議員選挙が執行され、新たな9名の議員でスタートいたしました。町民の皆様への負託に応えられますよう議員一同、その職責を果たしていく所存であります。

また、私としても新しい年を迎え、議会の代表者として、その責任の重さを改めて感じるとともに、清里町の更なる発展に向けて、町の意思決定機関としての機能を十分発揮できるよう、努力をしていきたいと決意を新たにしております。

ところが、本町においても昨年11月及び12月議会において物価高対策と地域経済対策関係の補正予算を組み、速やかな対応を図ってまいりました。今後も、現下の地域経済や景気動向、雇用環境と町民皆様の日々の暮らしの課題を的確に見極め、必要な対策に適時、取り組んでいく所存です。

さて、昨年は本町の基幹産業である農業にとつては、近年にないほど厳しい状況となりました。肥料や飼料、燃油、生産資材の高騰に加え、夏場から秋口にかけての長期にわたる異常高温により、麦類・馬鈴薯・てん菜の三作物はいずれも大きな影響が及んだところであります。農業経済は言うまでもなく、地域経済全体に大きく波及するものであり、現在、改正が進められている「食料・農業・農村基本法」の動向や今後の農業情勢を見据え、今般、農業振興と農村振興の観点からJA清里町と「包括連携協定」を締結させていただきました。

また、商業においては新型コロナウイルス禍の影響から脱しきれない状況が続いておりますが、昨年11月末に「地域交流拠点施設」が完成し、ドラッグストア「ツルハ清里店」がオープンいたしました。今

商業においては、「地域交流拠点施設」が完成し、ドラッグストアの出店の明るい話題やポイントカードの利用促進が進んでおりますが、コロナ禍の影響に加え、人口減や購買力の低下、商品の購買手法の多様化等により、厳しい状況が続いております。

本年は、「第6次清里町総合計画」及び「第2期清里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4年目の年となります。計画の着実な実行、町民の福祉の向上と本町の持続的発展のため、今後も議会として町が行う諸施策を多面的にチェックし、改善や提案を含めて議論を尽くしてまいります。

また、国際連合で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）でも示されているような課題のほか、福祉、医療、産業、地域の維持など、私たちの生活は常に様々な課題に直面しています。

本町におきましても、人口減少と超高齢化が進行していく中、地域社会をどのようにして維持、活性化していくのか、地域の産業をどう守り育てていくのか、どのように住みよいまちづくりを進めていくのかが重要な課題となっております。

後は、既存商店街と新たな施設のエリアを二つの軸として、どのように活性化を図っていくかが新たなまちづくりの課題となってくると思っております。

昨年4月の統一地方選挙に伴う町長選挙により重責を担わせていただくことになりましたが、公約として掲げた「町民だれもが安心して生活できるまち」「安心して子どもを産み、育てることのできるまち」「元氣なまちの産業経済と雇用を育むまち」の実現に向け、「人づくりと未来への投資」を怠ることなく、職員ともども全力を傾注する所存です。

迎えた新年においては、現在、計画策定中の第9期介護保険事業計画や各種福祉計画、地域公共交通計画、防災・消防施設整備による暮らしの安心づくりや、認定こども園整備、子育てサポート体制の強化による子育て支援、加えて地域経済の支えと若者雇用対策に取り組むなか、恵まれた地域環境を生かした持続的なまちづくりに果敢にチャレンジしてまいります。

結びにあたり、令和6年が町民皆様にとり最良の一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

きの予測が不確実な中、地方を取り巻く環境はより厳しさを増していくと思われまます。このような状況だからこそ、私たち議会に求められている役割は、より高まっているのではないかと感じております。様々な町政課題の解決に積極的に取り組むことはもちろん、町民の皆様の声を真摯に受け止め、住民福祉向上のため、二元代表制の一翼を担う議決機関としての役割を全力で果たしてまいります。

また、議会を身近に感じていただくよう、広報活動や町民懇談会等の広聴活動にも注力するとともに、議会のデジタル化の推進にも取り組んでいきたいと考えております。

結びにあたり、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、令和6年が皆様にとりまして、笑顔と希望あふれる実り多い一年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。